

8・22 耕作権裁判を闘おう！

千葉地裁包囲デモを闘い、傍聴闘争に結集しよう！

本日千葉地裁民事第二部（本田晃裁判長）で、耕作権裁判が行われる。反対同盟の呼びかけに応え、集会・デモで千葉地裁を包囲し、傍聴闘争を闘おう。市東さん農地強奪のためのあらゆる攻撃をはね返し闘おう。

空港会社は市東さんの南台の畑の一部を「不法耕作地」と決めつけ、市東さんを「不法耕作者」とキャンペンし、明け渡し請求を行っている。しかし、その土地の位置特定はデタラメであり、空港会社が提出した署名の偽造も明らかになっている。空港会社は、地主藤崎（南台の農地の耕作状況を記した手書きの）メモを唯一の根拠に市東さん耕作地を特定してきた。しかし、それが現実の状況と矛盾をきたしたため、さらにデタラメな憶測を主張している。

その上、空港会社は藤崎との用地買収交渉の報告書は、「一切存在しない」と居直っている。当時空港公団として用地買収は行われていた。お役所仕事として、報告書がないなどということはありません。本田裁判長は、嘘に嘘を重ねて証拠隠しを行う空港会社を擁護している。空港会社の農地強奪にお墨付きを与えるデタラメな裁判を許さず闘おう。

農地強制収用を武力ではね返そう！

空港会社（当時空港公団）は、農地買収後も市東さんにはそのことを隠し、藤崎は十五年間も地代を受け取り続けてきた。このような詐欺まがいの手口を用いたのは、市東さん・反対同盟の非妥協不屈の「空港絶対反対」「農地死守」の闘いを恐れたからだ。

いま空港会社は、コロナ下で空港需要がどれだけ激減しようと、空港機能強化と称する空港拡張を推し進めている。「暫定滑走路」の再度の北側延伸・第三滑走路建設・二十四時間空港化策動は、空港の反革命戦争出撃・兵站基地化の攻撃だ。市東さんの農地強奪は、戦時徴用そのものだ。

岸田連合政府は、銃殺された安倍の「国葬」を強行し、改憲・戦争に突き進もうとしている。反戦・反権力の砦「三里塚闘争」が最先頭で安倍「国葬」に断固反対しよう。

今秋連続する裁判闘争・現地闘争を両輪の闘いとして、農地死守決戦に立ち上がろう！

九月二日（金）午前十一時 新やぐら裁判（判決）
九月四日（日）三里塚現地闘争
午後一時 市東さん宅庭集合（その後北延伸予定地デモ）